



公印省略

23北筑保第8105号
平成23年12月16日

関係機関の長 殿

福岡県北筑後保健福祉環境事務所長
(健康増進課 健康増進係)

北筑後地域在宅医療支援センターだより第4号の配布について

日頃から、地域在宅医療の推進につきましては、ご理解とご協力をいただき厚く
お礼申し上げます。

このたび、在宅医療、在宅緩和ケアの普及啓発のため、センターだより第4号を
発行いたしました。これは、管内、各医師会や介護事業者の団体等の活動内容の紹
介や、北筑後地域在宅医療支援センターの活動をお知らせするものです。

第4号を送付しますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

福岡県北筑後保健福祉環境事務所
健康増進課健康増進係

担当 砂田、古賀

TEL : 0946-22-3964

FAX : 0946-24-9260

北筑後地域在宅医療支援センターだより

第4号 (H23年12月発行)

◆在宅ホスピス市民講座を開催しました！

平成23年11月27日(日)、ピーポート甘木(中ホール)にて、在宅ホスピス市民講座を開催しました。

在宅医療推進協議会及び実行委員との協働で、波多江伸子氏の基調講演「畳の上で死にたい～願いを叶えるための3条件～」と4人のシンポジストのそれぞれの立場、体験からお話をいただきました。240名の参加者があり、在宅療養(看取り)で家族を含めて豊かな時間を共有できたこと、在宅療養でも病院と同様の処置が可能なこと、在宅(施設も含む)療養も選択肢の一つであることを住民の方たちにも知っていただけではないでしょうか。

超高齢多死社会を迎える中、あらためて自分や家族の最期について考えさせられ中身の濃い2時間半でした。



参加者のアンケート結果から



◆終末期に希望する療養場所は？

	研修前	研修後
早く今まで通った病院へ入院したい	2	1
早く緩和ケア病棟へ入院したい	15	12
自宅療養し必要になればそれまでの病院へ入院	22	22
自宅療養し必要になれば緩和ケア病棟へ入院	97	68
自宅で最期まで療養したい	22	59
積極的な治療を受けたい	8	3
介護施設へ入所したい	1	0
その他	3	5

◆最期まで自宅で療養できると思いますか？

実現可能	31	72
実現困難	75	32
わからない	50	52

研修前と研修後を比べると、「自宅で最期まで」を希望、又実現可能と思われる方が2倍以上に増えています！

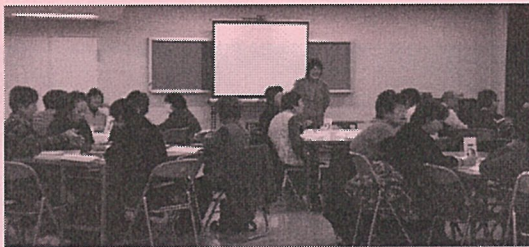
たくさんの感想もいただき、今後の活動への参考と励みにしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

☆アンケートの自由記載(感想等)から☆

- ☆ 死を迎える場所は病院しかないのではと思っていた。波多江さんの話を聞いて無理ではないことが分かり、自分の最期をどうしたらいいのかを改めて考えたいと思った。
- ☆ 講演会に来て良かった。難しいのかなと感じていたがこんなふうに考えたらいいのだなと少し考え方が変わったように思う。
- ☆ 熱心に在宅療養に取り組まれている様子が伝わってきた。自然でごく当たり前である在宅で看取ること、戻していかなければならないと思う。
- ☆ 在宅療養が多職種の方のサポート体制で可能なことだと痛感した。
- ☆ 本当に一人になった時でも在宅医療が可能なのか等の話が聞きたい。
- ☆ 一般の人にも広く周知する必要があるのではないかと思います。
- ☆ 在宅でより良いケアを提供できるよう努めていきたいと再認識し、在宅医療に関する意識を高く持つことができた。
- ☆ 若者世代に学校関係への啓発をお願いしたい。家族のことや死を考える教育として重要と思う。



◆第一回在宅ホスピスボランティア講座を12月7日に開催しました！



○「在宅ホスピスについて」

～地域で支える終末期ケアについて～

講師 訪問看護ステーションはな 所長 平野 頼子氏

○「在宅ホスピスボランティアについて」

～その役割と活動の実際～

講師 福岡ホスピスの会 代表 深堀 邦枝氏

在宅ホスピスについてもっと良く知りたい方、在宅ホスピスボランティアに関心がある方、32名のご参加をいただきました。

まず、訪問看護ステーションはな所長平野氏から、終末期を安心して我が家で暮らすためには、在宅医療に関するサービスを上手に活用し、家族だけで抱え込まないようにすることが大切であること、また、急変時にはあわてずに、主治医や訪問看護師に連絡するなどの対応について話していただきました。

次に実際にホスピスボランティアをされている福岡ホスピスの会代表の深堀氏から、ボランティアの心構えとして、まず自分自身の死生観を持ち、相手を傾聴する姿勢で寄り添うこと、「よい旅立ちであってほしい」という笑顔の挨拶を忘れてはならないこと、などのお話がありました。

その後のグループワークでは、写真のとおり和やかに意見交換がなされ、地域で皆で支えていくことが大事であるという意見に一致し、在宅ホスピスボランティアに関する学びが深まりました。

第二回目は下記の日程内容で実施します。

◇第二回在宅ホスピスボランティア講座

開催日時 平成24年1月25日(水) 13:30～16:30

開催場所 福岡県朝倉総合庁舎 2階 大会議室

内 容 ・講演「病院におけるがん診療の実際と在宅への支援」

講師:久留米大学病院 がん相談支援センター

黒田 喜美枝氏

・講演「北筑後管内の在宅ホスピスの現状」

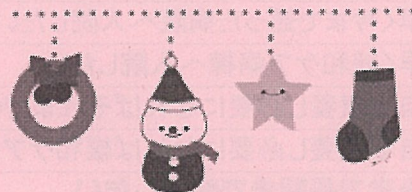
講師:小郡弥生訪問看護ステーション 所長

結城 千賀氏

・セラピューティック・ケアでこころとからだに寄り添う「手当」

講師:日本セラピューティック・ケア協会 理事長

秋吉 美千代氏



◇平成24年2月に「在宅ホスピスを語る会 in 小郡」を開催予定

開催日時 平成24年2月18日(土曜日) 14:00～16:00

開催場所 小郡市総合保健福祉センター「あすてらす」 2階 会議室3 (小郡市二森1167-1)

内 容 「在宅ホスピスを語る会in小郡」～みんなで語ろう 終末期をどう迎えるのか～

※ 先着 50 名で締め切らせていただきます。

編集後記

「在宅ホスピス市民講座」をようやく開催することができました。八月から二回の実行委員会を経て、管内関係機関のご協力をいただき、手作りのポスターやちらしを作成し身近な人たちが一人ひとりに声をかけながら啓発に努めました。実行委員のみなさまには、啓発・準備から当日の運営まで本当にありがとうございました。中ホールの480の席が埋まるのが、不安でいっぱいでしたが、当日はたくさんの人たちに来ていただいたことに感謝でいっぱいです。アンケートに何人も書いていただいていたように、一人でも多くの方たちにこのような在宅療養の情報を届けていくことが、私たちの大事な役割だと再認識しました。これからも、更に沢山の方たちとの出会いを楽しみに、取り組んで行きたいとします。(k)